

[成果情報名] ワサビ種子繁殖性新品種‘伊づま’ (いづま)

[要 約] 「静系 17 号」の自植後代から、集団選抜法により育成されたワサビ種子繁殖性品種の‘伊づま’ (静系 18 号) は、根茎の肥大に優れ、定植後約 12 ヶ月で収穫可能になる。

[キーワード] ワサビ、種子繁殖、新品種、交配

[担 当] 静岡農林技研・伊豆研セ

[連絡先] 電話 0558-85-0047、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 関東東海北陸農業・野菜

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

静岡県のワサビ栽培は豊富な清流を生かした水ワサビ栽培が主体であり、産出額 32 億円(全国第 1 位 平成 25 年度)で、主要な特産品として知られている。ワサビの種苗増殖には分根や茎頂培養を利用した栄養繁殖と春に採種された種子から定植苗を育成する種子繁殖があるが、栄養繁殖による育苗では病害の保毒や生産コストに、種子繁殖による育苗では定植苗の均一性に問題がある。そこで、種子繁殖性で均一性が高く、根茎肥大に優れた新品種を交配により育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 わさび科保有の「静系 17 号」の自植後代 7 系統から集団採種し、選抜した 3 個体を親系統とする種子繁殖性品種が‘伊づま’ (系統名「静系 18 号」)である (図 1)。
- 2 ‘伊づま’ は、定植 12 ヶ月で主根茎の重量が 100g 程度、根茎長が 10cm 程度になる (表 1、表 2、図 2)。
- 3 ‘伊づま’ の主根茎のすりおろし品質は、「辛み」「粘り」が‘真妻’よりも少ないが、「香り」が同等で「甘み」が真妻よりも多い (表 2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 ‘伊づま’ は種苗法による品種登録を 2015 年 4 月 28 日に出願、2015 年 12 月 28 日に出願公表 (品種登録出願番号 第 30144 号) された。
- 2 ‘伊づま’ の採種には、親株 3 系統を混植し、他品種花粉の混入を避けるため、隔離施設でミツバチによる受粉が必要である。
- 3 標高の高い生産施設では、品種の特性が発揮されず、生育が遅れることがある。

[具体的データ]

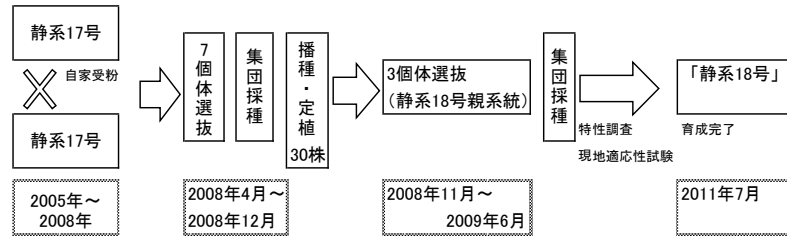


図1 ‘伊づま’ (静系18号) の育成経過

表1 ‘伊づま’ の生育特性および根茎特性

品種名	展葉数 ^z (枚)	草丈 ^y (cm)	全重 (g)	葉柄長 ^x (cm)	葉長 ^x (cm)	葉幅 ^x (cm)	葉柄径 ^x (mm)	分根数 (本)	根茎長 (cm)	根茎重 (g)	根茎径 ^w (mm)
伊づま(静系18号)	13.7 ab	41.9	265 b	30.9 a	10.1	13.4	6.9	1.7 b	109.0 a	87 a	32 a
島根3号(対照品種)	13.4 ab	45.7	363 a	32.8 a	10.5	13.7	6.9	3.0 a	87.1 b	49 bc	23 b
真妻(対照品種)	16.6 a	42.8	287 b	31.9 a	9.8	12.7	7.2	2.1 b	84.8 b	56 b	24 b
ふじだるま(対照品種)	11.4 b	41.5	212 c	27.9 b	10.7	13.6	6.8	2.4 ab	82.4 b	37 c	23 b
有意性	*	n.s.	*	*	n.s.	n.s.	n.s.	*	**	*	**

^z 調査時に展開している葉数

^x 展開した最大葉を調査

^y Tukeyの多重検定により同符号間には5%水準で有意差なし

^y 葉柄基部から葉の先端まで

^w 根茎中央部

^u 分散分析により**は1%, *は5%水準で有意差あり



伊づま ふじだるま 真妻 島根3号

図2 ‘伊づま’ 主根茎の外観

表2 ‘伊づま’ の主根茎の特性および食味

品種・系統名	皮色 ^z	目詰まり ^y	辛み ^x	粘り ^x	香り ^x	甘み ^x
伊づま	3.2	密	2.8	2.4	3.0	3.4
静系17号(分根)	4.0	密	2.8	2.0	3.0	4.0
静系17号(自然実生)	3.8	密～中	2.8	2.4	3.2	3.0
真妻(参考)	3.0	密	3.0	3.0	3.0	3.0

^z n=5, 1(淡)～5(濃緑)

^y n=5, 疎～中～密

^x n=5, 1(弱)～5(強)

[その他]

研究課題名：ワサビ種子繁殖系統の育成選抜

予算区分：県単

研究期間：2011～2015年度

研究担当者：馬場富二夫、伊奈健宏、久松 奨

発表論文等：あたらしい農業技術 No. 612(平成27年度)

特産種苗(2015). 20, 53-55.